

水俣病に温泉療養

八田九大教授ら語る

九大温泉治療学研究所の八田秋教授と国立別府病院長高安懐一氏は十二日午前中、水俣市立病院で水俣病患者を診察したのち、水俣病患者その他マヒ患者のため同市湯之尾に計画している温泉療養所について非常に効果があるというきょうに語った。

水俣病患者は神経系統の病気に似ており脳出血の後遺症などは温泉にはいって回復した例もある。温泉は血液の循環をよくし

筋肉をほぐすのはもちろん、温

泉そのものが排毒作用をするので体の諸機能を調整し回復を早める。現在入院している水俣病患者は思ったよりけいれんや硬直が少ないので温泉療養を送るとすれば、すわったり、寝たま

まで温泉治療のできるゆきとどいた施設（特殊なベッドなど）を作ったかどうか。またこれと合わせて適当な運動機能の訓練を行なえばよりいっそう効果があがると思う。